

CPEクレジットクイックガイド

CPEの規則 | 活動 | 提出のヒント

継続的専門教育 (CPE) は、プロとしての成長と卓越性に至るパスポートです。CPEにより、苦勞して獲得した認定資格とメンバーシップを維持することができます。

このガイドは、CPEクレジット要件を理解し、魅力的な活動を見つけ、効果的なCPEプランニングを習得するための重要なロードマップです。CPEを通じて、自身のキャリアを新たな高みへと導き取り組みを始めましょう！

認定資格およびメンバーシップ維持要件に関する詳しいガイダンスと、以下で取り上げる各トピックの詳細な説明については、[認定資格維持ハンドブック](#)を参照してください。

認定資格別CPE要件

認定資格	タイプ	推奨される年間最低CPE数	3年間の合計
CC	グループA	15	45
	グループAまたはB	-	-
	合計	15	45
CISSP	グループA	30	90
	グループAまたはB	10	30
	合計	40	120
CSSLP, CCSP	グループA	20	60
	グループAまたはB	10	30
	合計	40	90
CGRC, SSCP	グループA	15	45
	グループAまたはB	5	15
	合計	20	60
ISSAP, ISSER, ISSMP	グループA	20	60
	グループA	47	140
	合計	47	140
認定 ASSOCIATE	グループA	15	-
	グループAまたはB	-	-
	合計	15	-

一般的なCPE規則とガイドライン

グループAおよびBのクレジット

アソシエイトおよびCC保有者:グループAのみ

グループA

認定資格ドメインの領域における中核的なサイバーセキュリティ活動。例:認定資格トレーニング、サイバーセキュリティ会議

アソシエイトおよびCC保有者:グループAのみ

グループB

一般的な専門能力開発活動で、サイバーセキュリティに関連しないもの。例:リーダーシップトレーニング、クリティカルシンキングコース

CPEクレジットの計算方法

- 1時間につき1CPE、1活動につき最大40CPE
- 0.25、0.50、0.75単位で増分が可能
- CPEが適用されるサイクルは、活動の終了日より決定

複数のISC2認定資格を保有している場合

提出したCPE活動は、すべての認定資格の関連ドメインにカウントされます。

CPEクレジットの繰り越し

- 最低必要要件を超えるグループAのCPEクレジットが対象です。
- グループBのクレジットは繰り越しできません。
- 認定サイクルの直近6か月以内に取得したものでなければなりません。
- 繰り越せるクレジットの最大数は、年間推奨数と同一です。例えば、CISSPの場合、最大40CPE繰り越せます。
- ISC2のアソシエイトは、CPEクレジットを繰り越すことはできません。

更新

CPE活動の提出 + すべての年会費 (AMF) の支払い完了 = おめでとうございます！

認定資格とメンバーシップは、自動的に次のサイクルへと更新されます。

CPE監査

ISC2監査員が、提出されたCPE活動の無作為監査を実施します。これは、米国適合性認定機関 (ANAB) ISO/IEC規格17024への準拠を維持するためです。

注:ISC2活動に対して自動的に提出されたCPEクレジットは監査対象外です。

重要なポイント:

CPE活動を提出する際は、保有するすべての認定資格から関連する全ドメインを選択し、1度の提出で行ってください。監査を効率化するために、CPEクレジットを提出する際は、必ずCPE活動の証明を文書化し、アップロードしてください。

猶予期間

- 認定サイクルの終了日までにCPE + AMFの要件を満たさない場合、未提出のクレジットをすべて提出できるよう90日間の猶予期間が与えられます。
- 最終期限に間に合わなかった場合、認定資格とメンバーシップは停止されます。
- 停止状態が2年間継続した後、ステータスは失効します。
- 猶予期間中はCPEクレジットの自動提出はできません。メンバーは、CPEポータルを通じて手動でクレジットを提出する必要があります。

重要なポイント:

期限までにCPEの要件を満たすことが難しい場合はお問い合わせください。ISC2のカスタマーサービスチームがサポートします。

CPEカテゴリ

CPEポータルにログインしてCPEクレジットを提出すると、4つのカテゴリオプションが表示されます。

専門職への貢献

グループA

グループA:認定資格のドメインに関連して育成または提供する新たな教育関連のコンテンツ。

例:執筆、書籍のレビュー、ウェブキャストの準備、試験問題の開発、ボランティア活動など。

自動提出されたISC2活動も可能

教育

グループAおよびB

グループA:認定資格のドメインに関連するトピックまたは一般的なトピック(グループB)について、自主的に学習するコンテンツ。

例:書籍、雑誌、ホワイトペーパーを読む。学位コース、業界カンファレンス、ISC2認定資格の研修などへの参加。

自動提出されたISC2活動も可能

専門能力開発

グループBのみ

専門的スキル強化に関する活動。

例:リーダーシップ研修、対人コミュニケーションコース、プロジェクトマネジメント研修など。

自動提出されたISC2活動も可能

独自性の高い業務経験

最大10CPE グループA

日常業務以外の独自性の高いプロジェクトや課題に関連する勤務時間内の活動。

ISC2 CPE活動

以下の学習リソースはすべて、継続的な教育と専門能力開発を念頭に置いてISC2が開発したものです。これらの活動に対するCPEクレジットは、通常、学習1時間につき1CPEが付与され、自動的にメンバーアカウントに適用されます。学習とCPE取得を始めるには、各活動をクリックして、[直接ソースにアクセスしてください。](#)

認定資格

コース

セキュリティ会議

セキュアスポットライトイベント

ウェビナー

CPEパートナーイベント

公式認定資格トレーニング

ニュース・インサイトクイズ

インサイト貢献者

チャプター会議

試験問題開発

サイバーセキュリティ教育センター

重要なポイント

- CPEクレジットの取得と提出はお早めをお願いします。認定資格の更新を容易にするため、毎月3時間を目標としましょう。
- CPE活動の記録(日付、タイトル、期間)をデジタルまたは現物で保管してください。スムーズにポータル入力できるように、1つのソースにまとめましょう。
- ISC2の自動提出は、アカウントに反映されるまでに最大4〜6週間かかる場合があります。
- ISC2 BrightTALKウェビナーに参加する際は、事前にメンバーIDを登録してください。後からIDを追加することはできないため、手動でCPEクレジットを提出する必要があります。
- 提出した活動が、保有する複数のISC2認定資格に関連する場合は、提出時にすべての認定資格から関連するドメインを選択してください。
- CPEクレジットの提出は、締め切り直前にならないようにしてください。監査による認定更新が遅れる可能性があります。
- CPEに適切な活動は、教育以外にも、プレゼンテーション、ボランティア活動、会議、記事の執筆など、数多くあります。全リストについては、[認定資格維持ハンドブック](#)をご確認ください。

包括的なCPEクレジットガイド:

ISC2資格認定維持ハンドブックをダウンロード



CPEクレジット提出の準備は万全ですか?

CPEポータルにログイン



ご質問はこちらから

お問い合わせ先

